

**地方独立行政法人天王寺動物園包括施設管理業務委託
プロポーザル評価要領**

1. 評価要領の位置付け

本要領は、地方独立行政法人天王寺動物園包括施設管理業務委託プロポーザル募集要項に基づき、評価点の算出方法及び受託者の選定方法を示すものである。

2. 評価方法及び受託者の選定

- (1) 客観評価、業務提案書評価及び見積書評価を行い、受託候補者を選定する。
- (2) 客観評価は、事務局が参加者の技術者資料等により参加者の評価を行う。
- (3) 業務提案書評価は、「地方独立行政法人天王寺動物園包括施設管理業務プロポーザル審査委員会」（以下「委員会」という。）が業務提案書により評価を行う。
- (4) 見積書評価は、事務局が参加者の参考見積書により参加者の評価を行う。
- (5) 客観評価、業務提案書評価及び見積評価の評価点合計は下記の通りとする。

評価項目	評価配点	備考
客観評価	46.0 点	
業務提案書評価	270.0 点	90.0 点×委員 3 名
見積書評価	20.0 点	
総合計	336.0 点	

- (6) 委員会は評価点総合計点数が最も高いものから受託候補者 1 者、次点候補者 1 者を選定する。
但し 150 点未満の参加者は失格とし受託候補者に選定しない。

3. 客観評価

参加者の評価及び各業務担当者の資格により評価を行い、各評価の詳細は以下のとおりとする。

評価項目			評価基準	配点
客 観 評 価	参加者の評価	ア 有用な登録を評価する	登録数を評価する	16.0
		イ 有用な技術者を評価	技術者数について評価する	10.0
	配置予定技術者の評価	経験年数を評価する	経験年数 5 年について評価する	10.0
	業務実績の評価	同種・類似業務の実績	実績の区分、件数について評価する	10.0
	合 計			46.0

(1) 参加者の評価【16.0 点】

参加者の有用な登録種目数及び技術者数について評価を行う。

- ア 大阪市の「令和 4・5・6 年度 物品供給等・業務委託入札参加資格審査申請要領」の種目一覧（別冊 2）物品供給等・業務委託用にある登録種目のうち次の 1 項目につき評価点 1.0 点とする。

登録種目				評価点
大分類		中分類		
01	建物等各種施設管理	01	建物等清掃	1.0
		02	機械設備等保守点検	1.0
		03	通信設備保守点検	1.0

		04	消防設備保守点検	1.0
		05	附帯設備保守点検	1.0
		06	環境関係測定機器保守点検	1.0
		07	浄化槽清掃・点検	1.0
		08	貯水槽清掃・点検	1.0
		09	ボイラー清掃	1.0
		10	土木施設清掃・除草	1.0
		12	土木施設管理	1.0
		14	植物管理	1.0
		15	廃棄物処理	1.0
		17	警備	1.0
02	機械等施設点検・運転操作	01	施設保守点検整備	1.0
		03	施設運転操作管理	1.0
計				16.0

※参加者が提出した、様式 10「登録種目届」確認欄にある○印を評価点とする。

イ 有用な技術者数【10.0 点】

技術者数の評価は下記による。

技術者数（人）	評価点
10～	10.0
～9	5.0

※有用な技術者数は、参加者が提出した様式 7「技術資料」「2 本業務に有用な技術者職員の状況（専門分野別の技術者職員の状況）」の有資格技術者数の合計とする。

※専門分野（例：ビル管理関係、建築関係、電気関係、給排水・空調関係、防災・警備関係等）の資格

（2）配置予定技術者の評価【10.0 点】

経験年数による評価をおこなう。

経験年数	評価点
3 年以上	10.0
3 年未満	5.0

※配置予定技術者の経験年数は、参加者が提出した様式 7「技術資料」「3 配置予定の統括責任者の資格、経歴、手持ち業務の状況」に記載の「最近 5 年間の主な経歴」の経験年数とする。

（3）業務実績の評価【10.0 点】

評価点の計算は下表のとおりとする。

基礎配点 A	区分係数 B		評価点 A × B	合計
(最大件数 10 件) 1.0	同種業務の実績	1.0	(10 件で最大 10.0) 最大評価 1.0	10.0
	類似業務の実績	0.5		

※業務実績の評価は、様式 7「技術資料」「4 同種・類似業務の実績リスト（過去 5 年以内）」に記載の業務の件数とする。

※業務の対象は、地方独立行政法人天王寺動物園包括施設管理業務委託提案仕様書 第 3 章 1（1）保守管理業務に記載の業務とする。

※同種業務は、国・地方公共団体で行った業務の件数とする。

※類似業務は、国・地方公共団体以外で行った業務の件数とする。

4. 業務提案書評価【270.0 点】

実施体制等により評価を行い、各評価の基準は以下のとおりとする。

評価項目		配点
実施体制 (様式 8-1)	総括責任者以下の組織体制・人員配置は質・量ともに充実しているか。	10.0
	業務従事者への事故防止や衛生管理等への対策は十分であるか。	10.0
保守点検業務の 業務品質・効率性 の維持向上策 (様式 8-2)	保守点検業務において業務品質及び効率性を維持向上させるための考え方やしくみが具体的であるか。	10.0
	事務負担の軽減に資する事項に実現性があるか。	10.0
修繕業務の実施 方法 (様式 8-3)	保守点検業務の実施時に不良個所が発見されたときの修繕業務フローが適格で高い業務品質の確保が適格であり実現性があるか。	10.0
	修繕業務を実施するにあたり費用の削減に伴う適正な価格で実施する方法について具体的であり実現性があるか。	10.0
	修繕記録が分かりやすく管理できる方法について具体的であり実現性があるか。	10.0
追加サービス・ 独自のノウハウ (様式 8-4)	本業務の仕様書（原案）以外に追加提案された業務について実現性があるか。	10.0
	その他、特にアピールしたい点が適格であり実現性があるか。	10.0
計		90.0

評価基準及び評価点（テーマ 8-1 から 8-4）【90 点×3 人】最高 270 点

各委員が以下の評価基準に基づき評価する。

評価項目	評価基準	評価点
実施体制（テーマ 8-1） に対する評価	業務実施体制が極めて優れている	10.0
	業務実施体制が優れている	8.0
	業務実施体制が適切である	6.0
	業務実施体制がやや劣っている	4.0
	業務実施方針が劣っている	2.0

評価項目	評価基準	評価点
業務提案（テーマ 8-2 から 8-4） の提案に対する評価	提案内容が具体的・実現性が極めて良好である。	10.0
	提案内容が具体的・実現性が良好である。	8.0
	提案内容が具体的・実現性が十分である。	6.0
	提案内容が具体的・実現性がやや不十分である。	4.0
	提案内容が具体的・実現性が不十分である。	2.0

5. 見積書評価【20点】（自由書式）

見積書の評価基準は以下のとおりとする。

評価項目	評価基準	配点
参考見積書	<p>下記計算式によるものとし、計算結果が20点を超える場合は、20点とする。</p> $20 \text{ 点} \times ((\text{提案上限額} - \text{提案見積額}) \div \text{提案上限額}) \times 20 \text{ (係数)}$ <p>＊小数点第2位四捨五入</p> <p>例) 提案見積額 296,146 千円の場合</p> $20 \text{ 点} \times (7,530 \text{ 千円} \div 303,676 \text{ 千円}) \times 20 \div 9.9 \text{ 点}$	20.0

※参加者が提出した参考見積書の記載金額を評価する。（消費税及び地方消費税を含む）